

令和5年7月

よもやま
四方山



高ソメにもササユリが咲きました！

令和5年度 スローガン

「奈川の未来へ 地域のために 地域とともに」

本年度は会社設立6年目を迎え、地域における会社への依存度は増しています。引き続き地域から信頼される企業を目指して役員、社員とも取り組んでまいります。

特に、策定中の持続可能な奈川地区推進計画に基づく観光施設のあり方や指定管理への応募方針など重要な事項を決定する年でもあります。

重点事項

- 1 そば生産を中心とした地域資源活用部、地区内観光施設運営に携わる施設管理運営部、イベント、情報発信を担う観光交流部、社内を統括する事業統括部が連携して効率的な経営に努め、奈川地域の活力の維持につなげます。
- 2 もっく周辺へキャンプ場を整備し、高ソメ、野麦峠とともに奈川キャンプエリアとして誘客を図る。
- 3 元気な高齢者の雇用と新たな就労者の確保
- 4 感染症への適正な対応
- 5 お客様目線での対応と価値ある商品サービスの提供による満足度の向上
- 6 働き方改革と働き甲斐のある職場づくり
- 7 地区内観光施設のあり方について市と協議
- 8 持続可能な会社運営に向けて、中長期計画の策定 関係者との協議



奈川の夏まつり



開催 7月29日(土)

PM4:00～

会場 ながわ山彩館

生ビール 焼肉 クレープ他
打上げ花火 (協賛者受付中です)

詳細は後日お知らせいたします。



令和4年度 事業報告

令和4年度は、高ソメキャンプ場をはじめとする地区内の観光施設の管理運営、そば等の生産による農地を守る取組み、地域情報発信と奈川ファンを増やす観光交流事業等、地域振興のけん引役として各種の事業に取り組みました。新型コロナウイルスの影響もありましたが、キャンプブームの後押しもあり高ソメ、野麦峠のキャンプ場や秋の新そばまつりには、県内外から多くの方にお越しいただき賑わいを取り戻すことができました。

品質向上に焦点を当てた奈川そばの生産も重視しました。生産工程の管理を徹底し、おこす会からの支援によりそばセンターの乾燥機を増強。さらに「奈川そば協議会」を設立し、奈川そばのブランド化に向けて一丸となりました。

一方、老朽化した峠路、工女宿扇屋、ウディモック宿泊棟が解体され、寂しくも感じましたがこれは新たな可能性を模索し、地域のさらなる発展を促す機会と捉えています。

人口減少、高齢化はにより働き手の確保など会社の運営にも影響を及ぼしておりますが、今後の奈川地区のビジョンを描く「持続可能な奈川地区推進協議会」へ参画し、地域課題について共有を図りました。

令和4年度(株)ふるさと奈川決算状況 (単位千円)

売上高	133,269	売上高 委託料	109,930 23,339	各施設売上 そば販売 指定管理委託料 観光交流部補助
売上原価	44,274	仕入れ 業務委託費	42,140 2,134	各施設仕入れ 玄そば仕入れ 出向社員受入
売上純損益			88,995	
販売費 一般管理費	98,587	人件費 光熱水費 修繕費 減価償却費 その他	54,347 10,846 3,114 3,322 26,958	役員報酬 職員給与 従業員賃金 光熱水費 コンバイン他修繕費 減価償却費 そば乾燥機
営業損益			-9,592	
その他	12,961	雑収入	12,961	経営所得安定対策補助 そば交付金 そば乾燥機整備補助金 おこす会
当期純利益金額			3,367	

観光交流部を含む

スタッフ紹介 高ソメキャンプ場 藤森 浩一 (ふじもり こういち)

こんにちは！高ソメキャンプ場の藤森です。
松本市内田出身。お客として利用してから高ソメに一目惚れし、宮浦さん（山彩館そば打ち/製粉）の紹介でふるさと奈川に入社。高ソメでお世話になって3年目になります。
奈川に来るようになってから更に山遊び、川遊びが好きになり今年もフライフィッシング、登山、狩猟、そば打ちに挑戦しようとして計画しています。
奈川、高ソメキャンプ場を多くの方に知っていただきたく毎日奮闘しています。
奈川の皆さんもぜひ、高ソメにお出かけください。山菜、釣り、山遊び、昔のお話など聞かせてください！

